

# 起立性 調節 障害

対応ガイドライン  
- 理解とその対応 -



令和7年 3月  
熊本県教育委員会・熊本県

# 起立性調節障害

## 対応ガイドライン

- 理解とその対応 -

令和7年3月

熊本県教育委員会・熊本県

## 目次

まえがき	02
病気の理解	03
学校の対応	05
チェックシート	13
啓発資料	14
家庭での支援	17
受診・相談できる医療機関	19
教育相談窓口等	23
参考資料	24

## まえがき

起立性調節障害（Orthostatic Dysregulation 以下、「OD」という。）は主に、思春期に好発する自律神経系の不調からくる身体（からだ）の病気です。

ODの児童生徒には、自律神経機能の調節不全により、脳や全身に必要な血液が巡らず、立ちくらみやめまい、<sup>どうき</sup>動悸、<sup>けんたいかん</sup>倦怠感や頭痛、腹痛など、多様な症状が現れます。

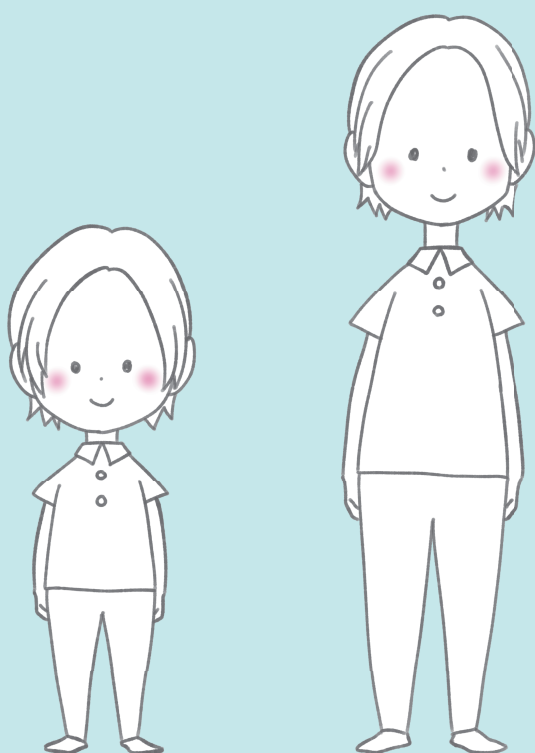
起床時に症状が強く現れると、朝起きることができなくなり、学校に登校できなくなってしまうこともあります。

朝の不調が重なることで不登校につながったり、心理的問題を指摘されたり、周囲から怠けやさぼりと誤解され、つらい思いをすることもあります。

このような症状を早期に把握して適切な対応や治療を行うことで、症状の軽減が見込まれたり、回復したりすることが期待できます。

本人を含め、家族や学校関係者がODについて正しく理解し、適切な治療や生活改善を行うことが、健やかな成長につながります。

ODの児童生徒を取り巻く関係者の対応への一助となることを願い、本ガイドラインを作成しました。



# 病気の理解

## 起立性調節障害 (OD)とは

自律神経系の不調によって引き起こされる病気で、循環障害のために起立時に身体や脳への血流が低下して、多様な症状が現れます。

### 具体的な症状

たちくらみ

めまい

どろき  
動悸

朝起き不良

頭痛

腹痛

けんたいかん  
倦怠感

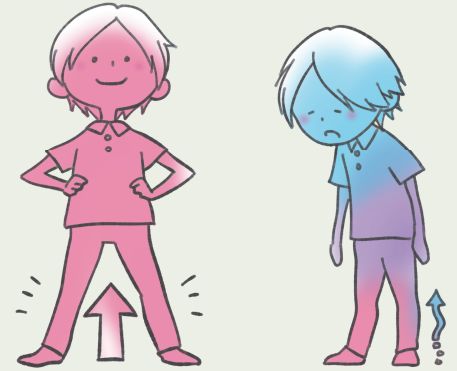
気分不良

乗り物酔い

失神

### 原因

自律神経がうまく働かなくなることが原因です。人は一般的に、起立しても脳の血流が維持されるようになっています。しかしODの場合は、交感神経と副交感神経のバランスが崩れて循環器系の機能が低下し、起立時に身体や脳への血流が低下してしまいます。その結果、多様な症状が現れることになります。



症状は午前には強く、午後には軽減する傾向があります。夕方から就寝時には活動的になる場合もあります。また、立ったり座ったりすると症状が強まり、横になると軽減します。雨の前など気圧変化の影響を受けやすいことも特徴の一つです。

### 思春期に発症しやすい

思春期(小学校高学年から高校生頃)に発症しやすく、軽症例を含めると中学生の約10%に存在し、そのうち約1%が重症とされています。珍しい病気というわけではありません。

思春期の間に改善することも多いですが、改善するまでの期間は症状の強さに応じて、数か月から数年と人によって様々です。

中学生

約 10% 軽症も含めて発症

約 1% 重症

# 診断方法

診察、血液検査、心電図検査などを行い、他の病気（心疾患、鉄欠乏性貧血、てんかんなどの神経疾患、副腎や甲状腺などの内分泌疾患など）の可能性を調べます。内容は医療機関によって異なります。他の病気の可能性がない場合はODに該当するかどうか調べるために、右の項目でチェックします。

11項目のうち、3つ以上該当すると、「新起立試験※1」を実施します。新起立試験でODのサブタイプ※2のいずれかに合致するとODと診断されます。

- 立ちくらみ、あるいはめまいを起こしやすい
- 立っていると気持ちが悪くなる、ひどくなると倒れる
- 入浴時あるいは嫌な事を見聞きすると気持ちが悪くなる
- 少し動くと動悸<sup>どうき</sup>あるいは息切れがする
- 朝、なかなか起きられず、午前中は調子が悪い
- 顔色が青白い
- 食欲不振
- 臍<sup>さい</sup>疝<sup>せん</sup>痛<sup>つう</sup>（臍<sup>へそ</sup>の周りが痛い）を時々訴える
- 倦怠<sup>けんたい</sup>あるいは疲れやすい
- 頭痛が起こりやすい
- 乗り物に酔いやすい

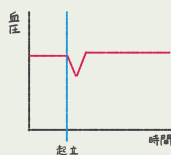


## ※1 新起立試験

検査は午前中に行います。安静時の血圧、心拍数、起立した後数分おきに血圧、心拍数を計測します。1回で異常を判定できない場合もあるため、ODの可能性がある場合には複数回検査を行うことがあります。これにより、ODかどうか、サブタイプ※2が何かなどの診断を行います。

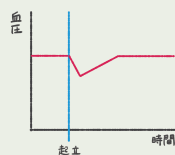
## ※2 主なサブタイプ

一般的な血圧の変化



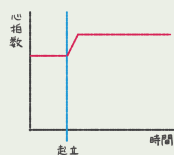
### 起立直後性低血圧

起立直後に血圧低下が起き、回復に時間がかかるタイプ

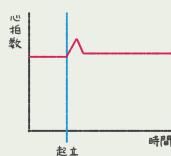


### 体位性頻脈症候群

起立後の血圧低下はなく、心拍数が以上に増加するタイプ

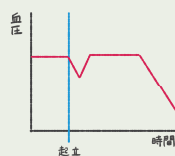


一般的な心拍数の変化



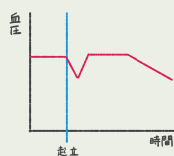
### 血管迷走神経性失神

起立中に急激な血圧低下を起こし失神するタイプ



### 遷延性起立性低血圧

起立中に徐々に血圧低下が進み、失神するタイプ



## 治療

身体的重症度と心理社会的関与の有無に応じて、以下の6つを組み合わせる治療します。

- 1 疾病教育
- 2 非薬物療法  
(日常生活上の工夫)
- 3 学校との連携
- 4 薬物療法
- 5 環境療法
- 6 心理療法

軽症の場合は、規則正しい生活を心がけること、水分をしっかり摂ること、無理のない範囲で毎日運動を行うことなど、まず日常生活を工夫することから始めます。治療期間は、重症度に応じて異なりますが、高校卒業時には9割程度の症例で日常生活に支障をきたすことが少なくなるとされています。

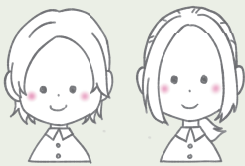
# 学校の 対応



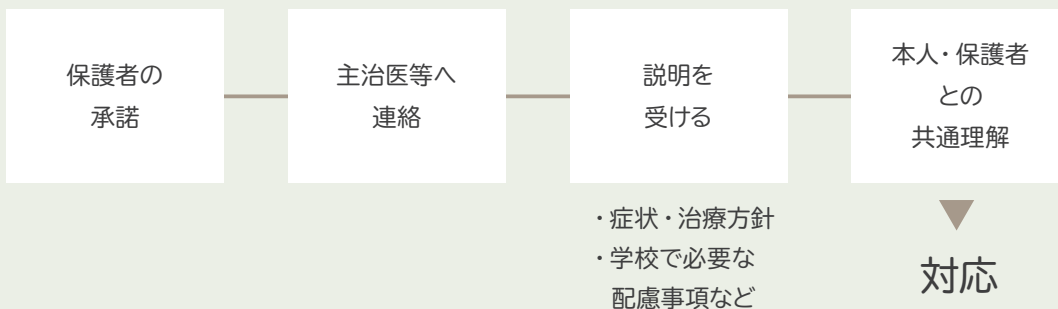
## 1 O Dと 診断された場合

本人・保護者の思いに寄り添って、  
学校全体で対応します。

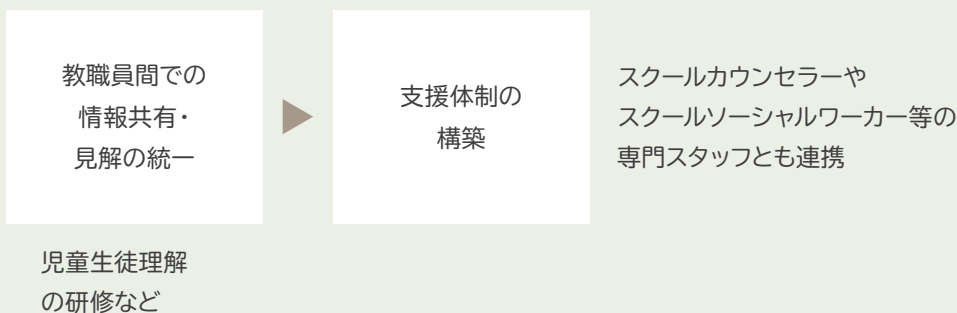
本人・保護者の思いに寄り添って学校全体で  
対応します。保護者の承諾を得た上で、主治  
医等と連絡を取り、症状や治療方針、学校で  
必要な配慮事項などの説明を受け、本人・保  
護者との共通理解のもと、対応します。児  
童生徒理解の研修などを実施し、教職員間で  
情報共有し、統一見解のもと、支援体制を構  
築します。スクールカウンセラーやスクール  
ソーシャルワーカー等の専門スタッフとも連  
携し、組織的に取り組めると良いでしょう。



### ① 本人・保護者との共通理解



### ② 組織的な支援

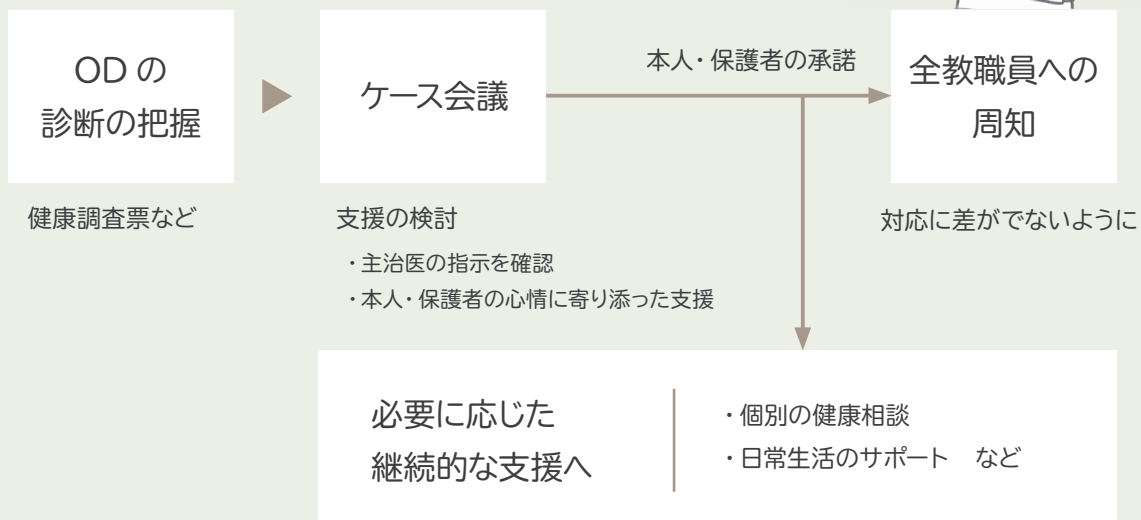


# 2 学校全体での 関わりについて

ODの診断の把握から継続的な支援へ。

.....

健康調査票などからODの診断を把握した場合には、ケース会議などで主治医の指示を確認し、本人・保護者の心情に寄り添った支援を検討します。必要に応じて個別の健康相談を行ったり、日常生活のサポートを行うなど、継続的な支援を工夫して行います。ケース会議で取り決めたことについては、本人・保護者の承諾を得た上で全教職員に周知し、教職員間で対応に差がでないようにします。



# 3 登校支援

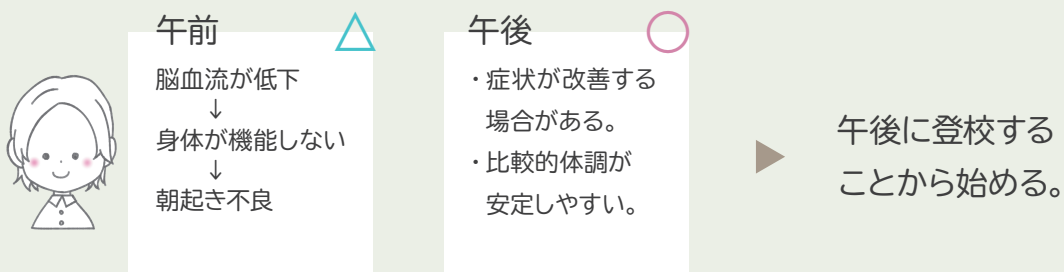


主治医等の指示のもと、本人・保護者を含め、関係者でケース会議などを行いながら、方針を検討します。

.....

主治医等の指示のもと、本人・保護者を含め、関係者でケース会議などを行いながら、方針を検討します。午前は脳血流が低下し、身体が機能しない状態になっていることが多く、朝起き不良となりますが、午後にかけて症状が改善する場合があります。比較的体調の安定しやすい午後に登校することから始めるなど、無理強いせず、できることから取り組みます。欠席連絡は、基本的には通常通りに行います。朝起き不良が続くような場合、本人・保護者と学校が無理なく情報共有できるよう、家庭からの連絡や、学校からの連絡の方法等について、あらかじめ取り決めておくといでしょう。

## ① 登校時間 無理強いせず、できることから。



## ② 欠席連絡 無理なく情報共有を。



- ・基本的には通常通り。
- ・朝起き不良が続くような場合の連絡方法をあらかじめ取り決めておく。



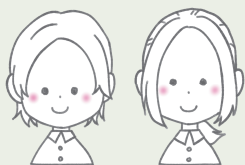
# 4 周囲の子供への説明

ODは<sup>なま</sup>怠けやさぼりではなく、身体の病気。  
理解し、尊重し合って正しい他者理解を。

.....

本人・保護者の希望を把握し、身近な子供や学級に、疾患特性の理解を促すため、ODとその対応について説明をすることもあります。周囲に伝えることに対し、不安を持つ子供もいるため、伝える内容について事前に丁寧な合意形成を行います。本人の体調の変化に気づいた時や、失神を起こした場面に遭遇した時には、速やかに教職員に伝えることなどについて、あらかじめ説明しておく<sup>なま</sup>と、周囲の子供たちも慌てずに行動することができます。ODは<sup>なま</sup>怠けやさぼりではなく、身体の病気であることをみんなで理解することが大切です。互いの異なる背景について理解し、尊重し合うことが正しい他者理解につながります。

## ① 合意形成 事前に丁寧な合意形成を行う。



本人・保護者の  
希望を把握

周囲に伝えることへの不安など

## ② ODの特徴について 疾患特性の理解を促す。

## ③ もしもの時の対応 慌てずに行動できるようあらかじめ説明しておく。

本人の体調の変化に気づいた。

失神を起こした場面に遭遇した。

▶ 速やかに教職員に伝える。

# 5 学校生活での 配慮

主治医の指示によりますが、基本的に制限はありません。

.....

主治医の指示によりますが、基本的に制限はありません。その日の状態で症状の変動が大きい場合、体調に合わせた運動も可能です。疲労感が強い場合などは、本人と相談しながら内容を検討します。見学は、日陰か室内で座位で行ってください。起立時や長時間の立位時には失神を引き起こすことがあるため、注意が必要です。静止状態での立位は3～4分以上続けないようにします。ゆっくり立ち上がる、長い時間立位の姿勢をとる活動を避けるなど、本人・保護者とあらかじめ確認しておき、取り決めた内容については、教職員で共有しておきます。立ちくらみやめまいなどの症状がある時は、速やかに臥位の体勢にし、脳血流を回復させます。症状が回復してきたら、なるべく座位で経過を観察します。



## 運動について 体調に合わせて運動も可能。

1

疲労感が  
強い場合

本人と相談しながら  
内容を検討

本人・保護者とあらかじめ確認しておき、  
取り決めた内容については、  
教職員で共有しておく。

2

見学

日陰か室内で、  
座位で行う。

3

起立・  
立位時

長時間の立位では  
失神を引き起こす  
ことがあるため注意

・静止状態での起立は  
3～4分以上続けな  
いようにする。  
・ゆっくり立ち上がる。  
・長い時間立位の姿勢  
をとる活動を避ける。

4

立ちくらみ  
や  
めまいなど

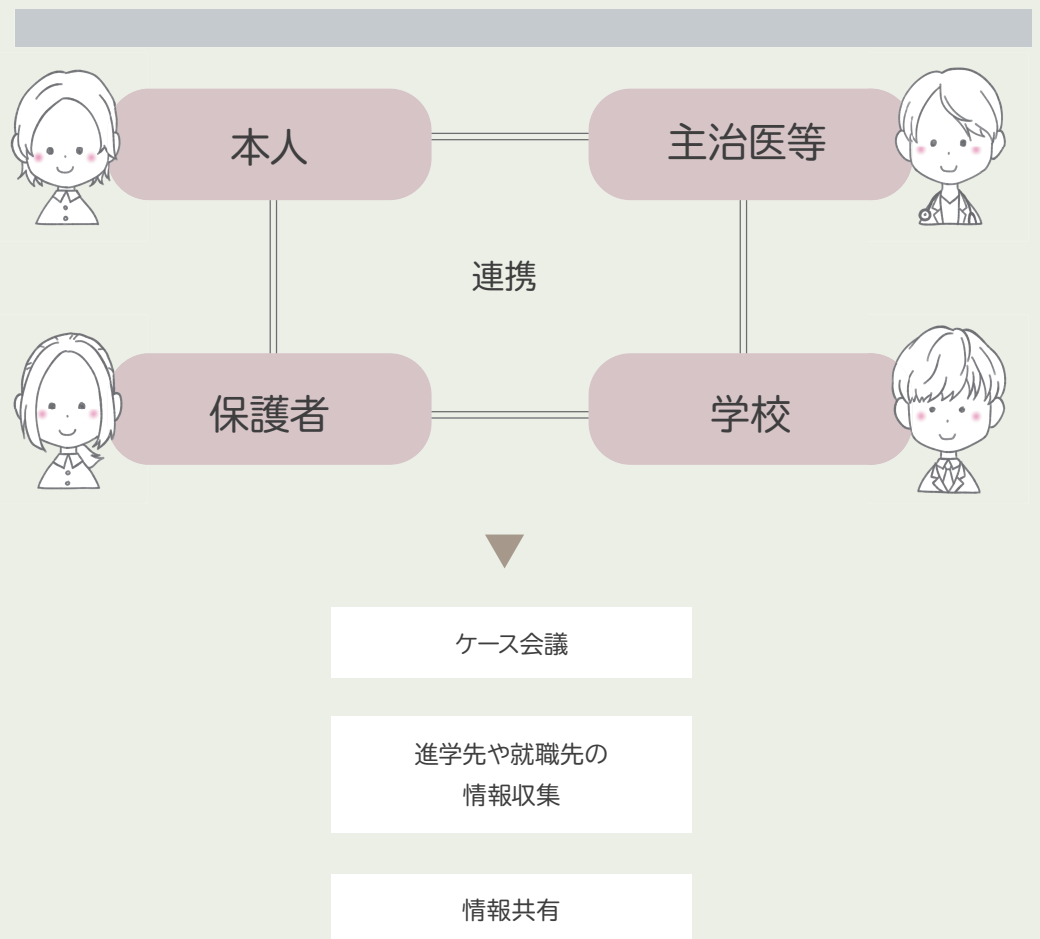
速やかに臥位の  
体勢にし、  
脳血流を回復させる。

症状が回復してき  
たら、なるべく座位  
で経過を観察する。

# 6 進路について

多角的な視点で連携して支援し、不安の解消につなげる。

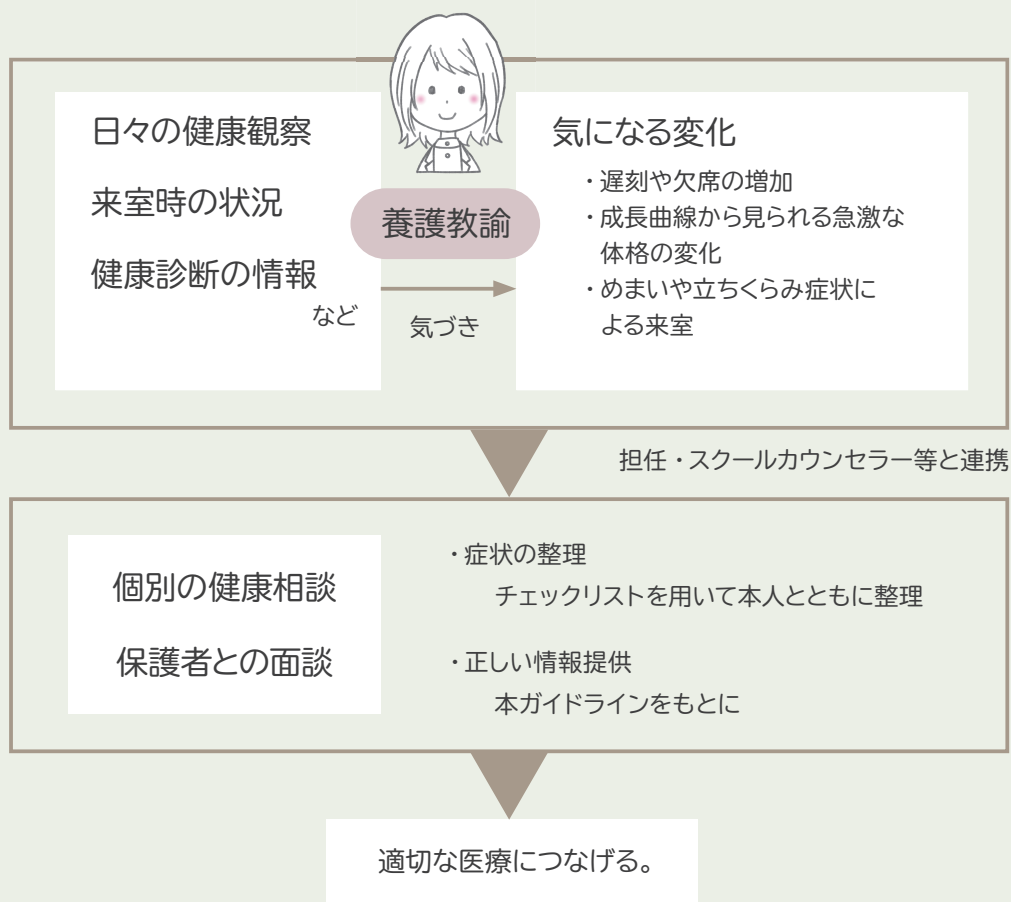
本人・保護者、学校、主治医等で連携しケース会議を行うなど、多角的な視点で支援します。本人・保護者の意思を確認した上で、進学先や就職先の情報を得たり、情報共有をしたりすることが、不安の解消につながることもあります。



# 7 養護教諭の関わり について

心身の変化に気づき、適切な医療につなげる。

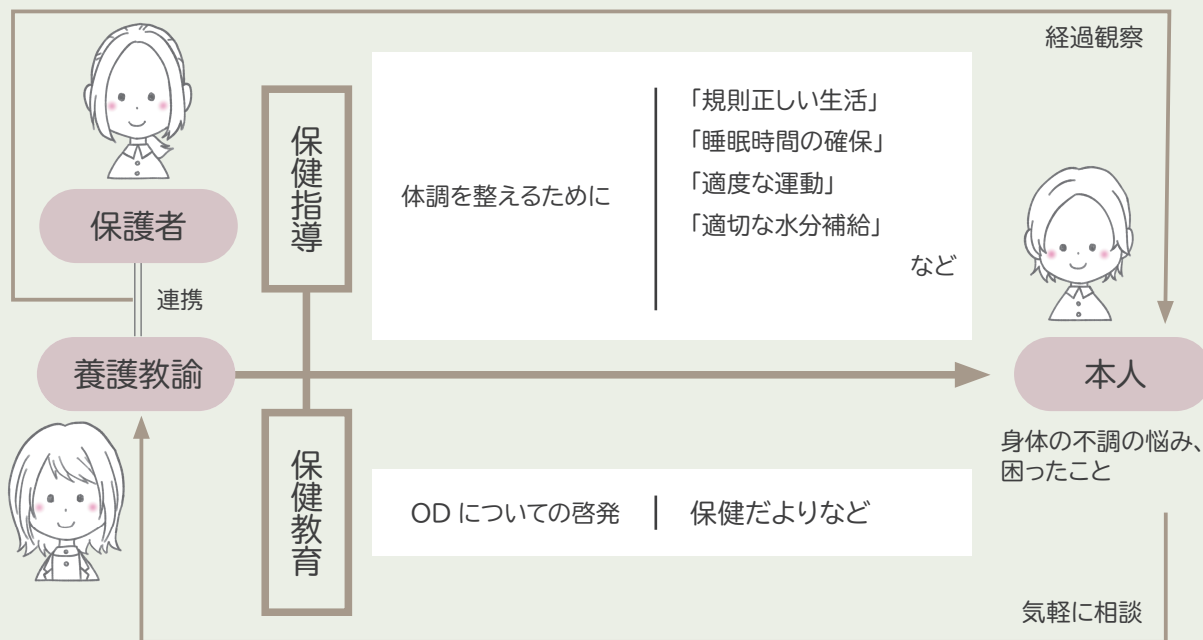
日々の健康観察、来室時の状況、健康診断の情報などをもとに、養護教諭は専門性を生かして、子供たちの心身の変化に気づくことができます。遅刻や欠席の増加、成長曲線から見られる急激な体格の変化、めまい・たちくらみ症状による来室など、気になる変化に気づいた際には、担任と連携を図りながら、個別の健康相談や保護者との面談を行ったりします。その際、チェックリストを用いて本人と共に症状を整理したり、本ガイドラインをもとに正しい情報を提供したりするなどし、適切な医療につなぎます。本人・保護者の不安には、スクールカウンセラー等とも連携して対応します。



## 保健指導と、気軽に相談できる体制づくり。



体調を整えるために、「規則正しい生活」「睡眠時間の確保」「適度な運動」「適切な水分摂取」などの保健指導を行い、保護者と連携して経過を見ていきます。また、保健教育では、日ごろからODについて、保健だよりなどを通じて啓発し、身体の不調の悩みや困ったことがある場合には、気軽に相談できる体制を整えます。



# 起立性 調節 障害 OD

## チェックシート



チェックした日 年 月 日

朝の不調が続いたり、遅刻や欠席が増えたり、乗り物酔いがひどいなど、気になる場合には、以下の項目についてあてはまる症状があるか確認してみましょう。

- 立ちくらみ、あるいはめまいを起こしやすい
- 立っていると気持ちが悪くなる、ひどくなると倒れる
- 入浴時あるいは嫌な事を見聞きすると気持ちが悪くなる
- 少し動くと動悸<sup>どうき</sup>あるいは息切れがする
- 朝、なかなか起きられず、午前中は調子が悪い
- 顔色が青白い
- 食欲不振
- 臍<sup>さい</sup>疝<sup>せん</sup>痛<sup>つう</sup>（臍<sup>へそ</sup>の周りが痛い）を時々訴える
- 倦怠<sup>けんたい</sup>あるいは疲れやすい
- 頭痛が起こりやすい
- 乗り物に酔いやすい



3つ以上、あるいは2つ以上でも症状が強い場合はODの可能性ががあります。専門の医療機関に相談してみましょう。

原因がわからないまましていると余計に不安になって症状が悪化したり、家族や周囲の誤解を生んだりしてしまうことがあります。

早期に医療機関につながり、ODについて身体の病気であると正しく理解できると不安の軽減につながります。

# ほけん だより

〇〇 月号  
〇〇年〇〇月〇〇日【〇曜日】  
〇〇〇〇学校

## 起立性調節障害 (OD) って？

自律神経の不調によって引き起こされる病気で、循環障害のために起立時に身体や脳への血流が低下して、さまざまな症状が現れます。



## 起立性調節障害 (OD) チェックシート

立ちくらみ、あるいはめまいを  
起こしやすい

立っていると気持ちが悪くなる、  
ひどくなると倒れる

入浴時あるいは嫌な事を  
見聞きすると気持ちが悪くなる

少し動くと動悸  
あるいは息切れがする

朝、なかなか起きられず、  
午前中は調子が悪い

顔色が青白い

食欲不振

臍疝痛（臍の周りが痛い）を時々訴える

倦怠（だるい）  
あるいは疲れやすい

頭痛が起こりやすい

乗り物に酔いやすい

3つ以上あてはまる場合は、  
ODの可能性がります。



こんな症状で  
困っていませんか？

学校に行きたいのに、  
どうしても朝起きられない。  
頭痛、めまい、たちくらみ、  
息切れなどがよく起こる。  
身体がだるくてやる気が出ない。  
朝より夕方になると体調がよくなる。  
身体がづらいのに、「怠けている」「さぼり」  
だと言われてしまうことがある。



## 起立性調節障害を予防・改善するために。

- 規則正しい生活をこころがける。
- 朝、光を浴びて、夜は電気を暗めにする。
- 十分な水分と適度な塩分をとる。



困っていることや悩んでいること、ありませんか？  
まずは、担任の先生や保健室の先生、おうちのひと、  
お話を聞いてもらいましょう。  
また、「熊本県24時間子供SOSダイヤル」  
(0120-0-78310) は、昼も夜も  
お話を聞いてもらうことができます。



# ほけん だより

〇〇  
月号

〇〇年〇〇月〇〇日【〇曜日】

〇〇〇〇学校

こんな症状で  
困っていませんか？



学校に行きたいのに、どうしても朝起きられない。

頭痛、めまい、たちくらみ、息切れなどがよく起こる。

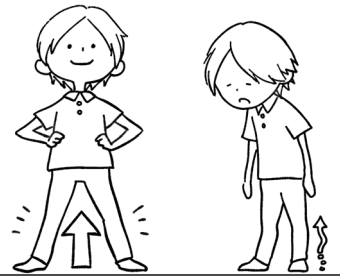
身体がだるくてやる気が出ない。

朝より夕方になると体調がよくなる。

身体がつらいのに、「怠けている」「さぼり」だと言われてしまうことがある。



## 起立性調節障害（OD）って どんな病気？



- ・自律神経の不調からくる身体の病気です。
- ・小学校高学年～中学生、高校生くらいの成長期に起こりやすい病気です。
- ・脳や全身に必要な血液が行きわたる機能がうまく働かなかったり、血液が体に行きわたるのに時間がかかったりするため、立ちくらみやめまい、頭痛、動悸（心臓がドキドキする）、だるさ、腹痛など、様々な症状が現れます。
- ・朝起きた時に症状がでやすいため、午前中、体が動かず、登校できないこともあります。
- ・中にはストレスなどが原因で起こりやすくなる場合もあります。

## どんな検査で診断されるの？

- ・貧血など、他の病気がないか確認します。
- ・10分間横になった後に立ち上がり、心拍数や血圧の変化を測定します。
- ・起立性調節障害と診断された場合、薬による治療が必要になる場合もあります。





# 起立性調節障害(OD)

## チェックシート



- 立ちくらみ、あるいはめまいを  
起こしやすい
- 立っていると気持ちが悪くなる、  
ひどくなると倒れる
- 入浴時あるいは嫌な事を  
見聞きすると気持ちが悪くなる
- 少し動くと動悸<sup>どうき</sup>  
あるいは息切れがする
- 朝、なかなか起きられず、  
午前中は調子が悪い
- 顔色が青白い
- 食欲不振
- 臍疝痛<sup>さいせんつう</sup>（臍の周りが痛い）を  
時々訴える
- 倦怠<sup>けんたい</sup>（だるい）  
あるいは疲れやすい
- 頭痛が起こりやすい
- 乗り物に酔いやすい

3つ以上あてはまる場合はODの可能性がります。

起立性調節障害を  
予防・改善する  
ためには？



- ・規則正しい生活を心がける。  
（朝、光を浴びて、  
夜は電気を暗めにする。）
- ・体内の血液の流れの量を  
増やすために十分な水分  
と適度な塩分を摂取する。
- ・心臓へ戻る血液量を  
増やすために下半身の  
筋肉をきたえる。

困っていることや悩んでいること、  
ありませんか？まずは、担任の先  
生や保健室の先生、おうちの人に、  
お話を聞いてもらいましょう。  
また、「熊本県24時間子供SOS  
ダイヤル」  
（0120-0-78310）は、  
昼も夜もお話を聞いてもらうこと  
ができます。



# 家庭 での 支援



## 症状がよくわかりません。

日常生活を送る上で気になることがある時には、本ガイドラインを参考に、症状を整理してみましょう。

保護者が不安になるような時には、遠慮なく学校や本書に記載の医療機関に相談してみてください。

学校では、教育相談で対応する他、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどに相談することもできます。

## どう接したらよいですか？

周囲からわかりづらく、「怠け」と誤解され、つらい思いをしていることがあります。

まずはつらい気持ちに寄り添い、チェックリストで当てはまる項目がないかなど、できることから一緒に取り組んでみてください。

本人が一人で抱え込まないよう、寄り添うことが大切です。

心理社会的ストレスは自律神経系に影響を及ぼします。

悩みや困っていることがある時は、一緒に考え、学校に相談するなどの協力を行います。

## 遅刻が多くなってきたのが気になります。

朝起き不良や午前中の不調がよく見られます。

午後には比較的改善する傾向があります。

体調が整ってから登校するなど、医療機関や学校と方針を決めて、できることから取り組みます。



## 朝、起こした方が良いですか？

朝起き不良の理由は次の3つです。

- 1 朝は交感神経の活性化が不十分で、  
血圧が上がらず脳の血流が維持できない。
- 2 午後から交感神経が活性化し、夜に  
最高潮になるため寝付きが悪くなる。
- 3 寝付きが悪く、夜起きていることにより、  
朝起きられなくなる。

自律神経不調の結果、夜眠れない状態が引き起こされることを理解できないと、誤解が生じて家族関係の悪化につながります。

起こし方について、子どもと事前に相談しておくなど、共通理解を図り、焦らずに取り組みましょう。



## 遅刻や、途中から授業に入ることを嫌がる場合があります。

必ずしも周囲に話をする必要はありませんが、ODは身体の病気であることを周囲に理解してもらおうと支援を得られる場合があります。

## 家庭で取り組めることはありますか？

ODに限らず、生活習慣の乱れや睡眠不足は子どもの健康に影響を及ぼします。

寝付けなくても時間を決めて横になる、日中はだるくても起きておくようにする、水分をしっかりとるなど、食生活や睡眠などの生活リズムを整える手伝いをしましょう。



## 起立性調節障害

について  
受診・相談できる

## 医療機関

- まずは、かかりつけ医や学校医への相談・受診も効果的です。
- 受診・相談を希望する場合は、各医療機関に対し、必ず事前にお電話で受診方法などを御確認ください。  
※医療機関によって、受診年齢に制限がある場合や、予約、紹介状などが必要な場合があります。
- 診察の結果、症状に応じて専門医療機関へ紹介させていただくこともあります。

(2025年3月現在)

圏域	医療機関名	住所	連絡先	小児科	備考
熊本市中央区	外科内科 池田医院	熊本市中央区八王寺町12-31	096-378-2231		
	熊本内科病院	熊本市中央区手取本町7-1	096-356-5500		16才以上
	在宅・よろず相談クリニック	熊本市中央区水前寺3丁目43-27	096-234-7772		16才以上
	沢田内科医院	熊本市中央区帯山4丁目21-22	096-382-6401		
	すえふじ医院(小児科)	熊本市中央区出水1丁目5-38	096-371-9912	○	初診は15才以下に限る
	杉村病院	熊本市中央区本荘3丁目7-18	096-372-3322		16才以上
	せんだメディカルクリニック	熊本市中央区島崎1丁目32-1	096-356-8223		
	鶴田胃腸科内科医院	熊本市中央区坪井1丁目9-26	096-343-2801		16才以上
	十善病院	熊本市中央区南熊本3丁目6-34	096-372-2688	○	18才未満
	西村内科脳神経外科病院	熊本市中央区南熊本2丁目7-7	096-363-5111		15才以上
	野津原内科医院	熊本市中央区黒髪6丁目1-23	096-343-0720		6才以上
	はっとり小児科・皮ふ科	熊本市中央区南熊本4丁目3-40	096-371-3122	○	
	福田病院	熊本市中央区新町2丁目2-6	096-322-2995	○	
	水本整形外科・内科クリニック	熊本市中央区国府2丁目17-34	096-362-3311		16才(高校生相当)以上
みとま神経内科クリニック	熊本市中央区新大江2丁目5-12	096-372-3133		中学生以上	
熊本市東区	秋津レークタウンクリニック	熊本市東区秋津町秋田3441-20	096-368-6007	○	
	足立・有馬小児科神経内科	熊本市東区長嶺東4丁目2-1	096-349-1717	○	
	グレースメディカルクリニック	熊本市東区佐土原1丁目16-36	096-360-9013	○	
	長嶺そよかぜクリニック	熊本市東区月出6丁目5-130	096-285-4123	○	小学生・中学生のみ
	原口循環器科内科医院	熊本市東区保田窪2丁目1-4	096-383-3880		13才以上
	東熊クリニック	熊本市東区戸島西3丁目7-15	096-365-0033		中学生以上
	比企病院	熊本市東区尾ノ上3丁目1-34	096-381-5151		
	藤川医院	熊本市東区水源1丁目18-2	096-368-2447	○	
	むらかみ内科クリニック	熊本市東区山ノ神2丁目2-32	096-331-2551		12才以上
	もとむら小児クリニック	熊本市東区新外4丁目6-8	096-365-7711	○	小学生(7才)以上
山田内科医院	熊本市東区保田窪本町16-35	096-382-2700			
熊本市西区	えとう小児科クリニック	熊本市西区島崎2丁目2-13	096-351-8282	○	
	おがた小児科	熊本市西区花園5丁目24-89	096-326-5411	○	
	杉野クリニック	熊本市西区春日7丁目19-7	096-352-8247	○	
	田島医院	熊本市西区田崎3丁目1-25	096-352-2433		
	堀尾内科医院	熊本市西区河内町船津2945-1	096-276-1515		12才以上

圏域	医療機関名	住所	連絡先	小児科	備考
熊本市南区	あらかきメンタルクリニック	熊本市南区日吉2丁目7-55	096-320-1700		7才以上
	有明海リハビリテーションクリニック	熊本市南区奥古閑町4375-3	096-223-2175		
	永田耳鼻咽喉科医院	熊本市南区近見2丁目4-51	096-325-3387		
	和漢堂 松田医院	熊本市南区城南町藤山360-2	0964-28-3331	○	
熊本市北区	いちもり内科糖尿病内科クリニック	熊本市北区植木町植木534	096-272-3333		小学生以上
	えがみ小児科	熊本市北区楠8丁目16-63	096-339-0331	○	中学生まで
	熊本機能病院	熊本市北区山室6丁目8-1	096-345-8111		
	桑原内科小児科医院	熊本市北区植木町岩野457-5	096-273-3330		中学生以上
	まえだクリニック	熊本市北区龍田8丁目15-64	096-338-1637		
	師井医院	熊本市北区植木町植木504	096-272-0030	○	
有明	荒尾市立有明医療センター	荒尾市荒尾2600	0968-63-1115		16歳以上
	くどう小児科クリニック	荒尾市東屋形4丁目2-1	0968-64-5511	○	
	こどもクリニック友枝	荒尾市荒尾4160-256	0968-65-8181	○	
	田宮医院	荒尾市大島町3丁目4-44	0968-62-0017	○	7歳以上
	松山医院	荒尾市原万田462	0968-62-0418		
	A n d坂本女性クリニック	玉名市高瀬38	0968-74-2045		
	浦田医院	玉名市岩崎1023	0968-74-2412	○	
	大磯耳鼻咽喉科医院	玉名市亀甲170	0968-73-4133		
	ひらしま小児科医院	玉名市岩崎6-1	0968-73-5530	○	
	前田小児科医院	玉名市立願寺138	0968-74-1333	○	
	もみの木こどもクリニック	玉名市築地5-1	0968-72-0033	○	中学3年生まで
	吉村循環器科内科医院	玉名市横島町横島3894-1	0968-84-2765		
さかき診療所	玉名郡南関町上長田638-1	0968-53-1125	○		
鹿本	井上産婦人科医院	山鹿市大橋通503-1	0968-44-6615		15歳以上
	東内科小児科医院	山鹿市方保田3145-6	0968-44-3444		12歳以上
	平井藤岡医院	山鹿市鹿本町来民495-1	0968-46-2146	○	
	山鹿中央病院	山鹿市山鹿1000	0968-43-6611		12歳以上
	山鹿温泉リハビリテーション病院	山鹿市新町1204	0968-43-4151		
	幸村医院	山鹿市鹿央町合里411	0968-36-2000		学童期以上

圏域	医療機関名	住所	連絡先	小児科	備考
菊池	清原医院	菊池市泗水町福本775	0968-38-2106	○	
	西山医院	菊池市隈府115-4	0968-25-2561	○	
	宮本内科クリニック	菊池市隈府277-2	0968-25-2047	○	
	いけざわこどもクリニック	合志市野々島2461	096-242-6633	○	
	温耳鼻咽喉科医院	合志市幾久富1909-547	096-248-6188		
	平瀬内科医院	合志市幾久富1909-227	096-248-5227		12歳以上
	穂っぴこども在宅&心身クリニック	合志市合生3965-2	096-247-6528	○	新患は中学生まで
	まつもこどもクリニック	合志市須屋264-4	096-338-8960	○	
	森本整形外科医院	合志市御代志1665-166	096-242-2231		
阿蘇	阿蘇医療センター	阿蘇市黒川1266	0967-34-0311	○	
	阿蘇温泉病院	阿蘇市内牧1153-1	0967-32-0881		
	問端内科	阿蘇市内牧115	0967-32-0102		
	南郷谷リハビリテーションクリニック	阿蘇郡高森町高森2186-1	0967-62-3351		
	渡邊総合内科クリニック	阿蘇郡高森町大字高森2022-3	0967-65-2201		
宇城	上野小児科医院	宇土市城之浦町196	0964-22-0324	○	
	皮ふ科耳鼻咽喉科 草場医院	宇土市松原町35-8	0964-23-5851		
	泉胃腸科外科医院	宇城市松橋町松橋1941	0964-33-2277		中学生以上
	しまだこどもクリニック	宇城市松橋町きらら3丁目2-19	0964-34-3933	○	
	中村医院	宇城市松橋町砂川1729-2	0964-32-0722		
	本田医院	宇城市松橋町南豊崎585	0964-32-0555	○	
	松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック	宇城市松橋町きらら2丁目2-15	0964-33-4133		10才以上
八代	上野耳鼻咽喉科医院	八代市本町2丁目3-49	0965-34-1814		
	片岡レディースクリニック	八代市本町3丁目3-35	0965-32-2344		女性に限る
	くわはら小児科	八代市植柳上町5690-1	0965-32-5000	○	
	高橋医院	八代市弥生町12-1	0965-31-1555		小学生以上
	ふくろ町クリニック	八代市袋町1-8	0965-32-1222		
	和田小児科医院	八代市大手町2丁目5-23	0965-32-2755	○	

圏域	医療機関名	住所	連絡先	小児科	備考
芦北	白梅病院	水俣市浜4089-1	0966-63-7575		
	水俣市立総合医療センター	水俣市天神町1丁目2-1	0966-63-2101	○	中学生まで
	山田クリニック	水俣市旭町2丁目2-5	0966-63-5188	○	
	百崎内科医院	芦北郡芦北町田浦806	0966-87-1777		
球磨	医療法人 外山胃腸病院	人吉市南泉田町1	0966-22-3221		
	増田クリニック小児科	人吉市五日町44	0966-22-3570	○	
	犬童耳鼻咽喉科	球磨郡多良木町多良木2834	0966-43-0777		12才以上（中学生以上）
	球磨郡公立多良木病院	球磨郡多良木町多良木4210	0966-42-2560	○	
天草	島田小児科医院	上天草市大矢野町登立191	0964-56-0005	○	
	葦原医院	天草市今釜町8-13	0969-23-4988		中学生以上
	天草地域医療センター	天草市亀場町食場854-1	0969-24-4111	○	・中学生以下 ・電話相談： 平日9:00~16:00 ・受診の場合は紹介状が必要
	天草ふれあいクリニック	天草市丸尾町16-34	0969-24-1400		中学生以上
	牛深市民病院	天草市牛深町3050	0969-73-4174	○	
	河浦病院	天草市河浦町白木河内223-11	0969-76-1151		
	酒井病院	天草市本町下河内964	0969-22-4181		
	十万山クリニック	天草市本渡町広瀬5-21	0969-24-7700	○	
	荘田医院	天草市南町1-27	0969-22-2497		
	中村こども・内科クリニック	天草市五和町二江1477-57	0969-33-0144	○	
	松本内科・眼科	天草市久玉町5716-6	0969-72-2833		
	本原内科小児科医院	天草市栖本町湯船原735-1	0969-66-2010	○	

最新版の一覧はこちら



# 教育相談窓口等

教育相談窓口等について、詳しくは、  
学校安全・安心推進課の情報サイトを  
ご覧ください。

## 熊本県 24 時間子供SOSダイヤル

お子様についての様々な悩みについては、こちら  
にご相談ください。

**0120-0-78310**

受付時間 | 24時間受け付けています



学校安全・安心推進課  
情報サイト

## すこやか子育て電話相談

子育てについての不安や悩みについては、こちら  
にご相談ください。

**096-383-6636**

受付時間 | 平日 17:00-21:00

土曜 13:00-17:00

(祝日・年末年始と

8/13~8/15を除く)

## 児童・生徒の皆さんへ

困っていることや悩んでいること、ありませんか？まずは、担任の先生や保健室の先生、おうちの人に、お話を聞いてもらいましょう。相談電話でもお話を聞いてもらうことができます。特に「熊本県24時間子供SOSダイヤル」は、昼も夜もお話を聞いてもらうことができます。

.....

## 熊本県教育庁県立学校教育局 学校安全・安心推進課

不登校、いじめ、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーについては、こちらにご相談ください。

**096-333-2720**

受付時間 | 平日 8:30-17:15

## 保護者の皆さんへ

お子様のことで、お悩みのことがありましたら、どんなことでも結構ですので、早めに学校にご相談ください。学校では、心理の専門家「スクールカウンセラー」や福祉の専門家「スクールソーシャルワーカー」の活用も可能です。また、県内の市町村立学校に通っておられるお子様のことについては、各市町村教育委員会にも相談できます。



## 引用・参考資料

一般社団法人日本小児心身医学会 ホームページ：<http://www.jisinsin.jp/>

岡山県教育委員会 起立性調節障害対応ガイドライン（平成31年3月）

熊本県教育庁県立学校教育局学校安全・安心推進課

ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/132/>

### 助言者

公益社団法人熊本県医師会

三湊 浩

国立大学法人熊本大学病院

澤田 貴彰

熊本県精神保健福祉士協会

徳永 佑美

熊本県養護教諭研究会

後藤 昭代

熊本県高等学校保健会養護教諭部会

平川 悠子

### 啓発資料作成協力

熊本県養護教諭研究会・熊本県高等学校保健会養護教諭部会

### 担当課

熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課

熊本県教育庁県立学校教育局学校安全・安心推進課

熊本県健康福祉部健康福祉政策課

### 事務局

熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課

課長 濱本 昌宏

審議員兼課長補佐 平川 貴浩

主幹 池田 将文

指導主事 小島 慶子

イラスト・レイアウト

熊本県立阿蘇中央高等学校

教諭 佐伯 彰彦

## さいごに

成長期にある子供たちのODを早期に見つけ適切な治療につなぐこと、本人・周囲が病態について正しく理解すること、関係機関と連携して支援の充実を図ることなどが、子供たちの健やかな成長の一助となります。

本ガイドラインが、学校、家庭、医療機関の連携の場面で活用されることを期待しています。



---

## 発行者

起立性調節障害ガイドライン作成会議  
熊本県教育庁・熊本県健康福祉部

---

## 問合せ

熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課  
〒862-8609  
熊本市中央区水前寺6丁目18番1号  
TEL 096-333-2712